

3 桐蔭中学校の教育について

(1) 校訓

文武両道

(2) 教育指針

- ・自ら人生を切り拓く力を育てる。
- ・改革への情熱と伝統を重んじる心を育てる。

(3) 教育目標

- ① 義務教育段階で求められる、また高等学校教育を受けるための基盤となる知識・技能を確実に身に付けさせる。
- ② 身に付けた知識・技能を活用する力としての思考力、判断力、表現力を身に付けさせるとともに、物事を論理的に考え、説得力をもって表現できる力を養う。
- ③ 学ぶことの意義や目的を理解させるとともに、常に「なぜ」という気持ちをもって、学んだことを深める態度や多様な人々と協働して学ぶ態度を養う。
- ④ キャリア教育を重視し、豊かな社会生活や職業生活を営むために必要となる「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」、「学ぶ力」を身に付けさせる。
- ⑤ 部活動や学校行事等を重視し、健全な心身の育成に努めさせるとともに、規律ある生活を身に付けさせ、社会の形成者としての個人の役割を自覚させる。

(4) 中高一貫教育における基本理念

桐蔭中学校では、桐蔭高等学校と中高一貫した系統的・継続的な教育活動を行うため、6年間で「基礎期、充実・発展期、飛躍期」の3段階の教育課程で構成します。中学校、高等学校ともに基礎・基本を習得し深化させ、社会の変化に主体的に対応し、新しい時代を切り拓くことができる総合的な人間力を備えた人材の育成をめざします。

特に、基礎期から充実・発展期を担う中学校教育では、知識・技能など基礎・基本の確実な定着とともに、それらを活用することで論理的思考力や表現力、コミュニケーション能力を育て、探究心や創造力を伸長し、高校教育の充実・発展期、飛躍期につなぐ幅の広い確かな学力と豊かな情操を育成します。

【桐蔭中高一貫教育の3段階】

学 年	段 階	指 導 目 標
中1・2	基 礎	知識や技能を確実に習得し、学び方や学ぶ姿勢を身に付けるとともに、思考力や表現力の基礎を養う。
中3 ----- 高1	充実・発展	探究する活動や学び合うことを通して、学習内容を深化・発展させ、幅の広い確かな学力と豊かな情操を育てる。 ----- 専門的な知識の獲得や深く思考する学習活動により、協働的な学び合いの中で個々の能力を伸長させ、問題解決できる応用力を培う。
高2・3	飛 躍	自己の目標実現に向けて、希望する進路に応じた学習を充実させ、6年間の中高一貫教育の成果を結実させる。